

ちば産学官連携プラットフォーム  
2026年度 第5回 共同 FD・SD 研修会 実施報告書

1. 実施日時

2026年9月8日(火) 10時40分～12時10分

2. 開催形式

Zoom を利用したオンライン開催

3. テーマ

生成 AI を学びの道具として利用する・生成 AI 時代の学びのデザイン

4. 参加人数(内訳)

85 名

(淑徳大学:1 名、敬愛大学・敬愛短期大学:3 名、千葉経済大学・千葉経済大学短期大学部:4 名、神田外語大学:69 名、植草学園大学・植草学園短期大学:1 名、帝京平成大学:3 名、東京情報大学:1 名、その他:3 名)

5. 講師

1. 神田外語大学教育イノベーション研究センター 専任講師 田中 冴 氏
2. 帝京平成大学健康医療スポーツ学部 准教授 庄司 一也 氏  
(司会進行 神田外語大学教育イノベーション研究センター 村田 氏)

6. 研修内容(実施内容)

生成AIの進化は日進月歩であり、新モデルの発表が日々メディアをにぎわせている。高等教育においても、教える側、学ぶ側ともに新たなツールを活用できる状況が生まれてきているが、適切な十分な活用が現場でなされているかという点、試行錯誤を行っていることも多いと思われる。本FDでは、生成AI時代に求められるライティング支援を、学んでいるプロセスに価値があるという視点でデザインを行う研究事例について紹介を行う。

また、生成AIの活用は教員の業務効率化にとどまらず、学生の主体的・協同的な学びを支える新たな教育手法としても注目されている。本FDでは、生成AIを学習のパートナーとして活用する事例を取り上げ、その教育的効果や課題について紹介する。併せて、学生の思考力や批判的思考力を育む授業デザイン、ならびにAI時代に求められる学習評価のあり方について考察し、参加者同士の意見交換を通じて、生成AIを活用したより良い教育実践の方向性を探る機会とする。

以上